



天童市田麦野の棚田

人と人との力 地域の力 東北の未来に

# 村山総合支庁ニュース



—Murasou News—

第187号 平成30年10月号

山形県村山総合支庁

## ★ 知事が朝日町で・・・交流いろいろ・・・★

### ◆ 8月2日、まずは、☞ 株式会社ニクニアサヒ【知事のいきいき企業訪問】

株式会社ニクニ（神奈川県）の製造工場として、ポンプ製品などを製造する朝日町の『株式会社ニクニアサヒ』を知事が訪問しました。展示用のハイテクポンプがきめ細かな泡を作り出す様子や、ジェットバスに使われるものもあるなどの説明に、知事も深く関心を示していました。

また、当日は森代表取締役をはじめとした若いスタッフに対応していただきましたが、100名を超える社員には独身者も多いことが分かり、知事は出会いサポートの面でも大いに興味を持ったようです。

フルマラソンの出場者や、山形大学理学部の望遠鏡ドーム（ニクニドーム）で観測などの活動をしている方など、個性豊かな人達が集まった企業でもあり、今後とも様々な活動を通じて、町の活性化への貢献が期待されます。



若い社員も一緒に

### ◆ 次に、☞ 星の会(新宅今井家「宿のやかた」)【知事のほのぼの訪問】



話が弾みます

千坪もある庭の青楓が爽やかな風を運ぶ「宿のやかた」を訪れました。

「赤のれん」がくっきりと映える明治時代の古民家に入ると、土間が昔のままあり、暑い日でしたがひんやりとした空気が感じられました。

「星の会」は平成27年度から「民話で町おこし」に取り組み、昔話を中心に古民家ライブや作品展など、様々な事業を行っている元気な女性たちの団体です。会長の成原さんから、昔話「へったれ嫁」を巧みな話術でご披露いただき、笑い声が響きました。

おもてなしの気持ちのこもった手作りの梅のデザートなどをいただきながら、古民家を維持していく苦労話や、会の活動や課題、地域の活性化などの話で盛り上がりました。

知事からは、このパワーを婚活への口添えに生かしてほしいとお話がありました。今後の活動の一層の拡充が期待されます。



みんな素敵な笑顔

### ◆ そして、☞ 【知事と若者の地域創生ミーティング】(ゲストハウス松本亭一農舎)

午後4時からは、古民家をリノベーションしたゲストハウス、朝日町「松本亭一農舎」において「知事と若者の地域創生ミーティング」が開催されました。当日は猛暑でしたが、古民家ならではの涼しさのなか看護師、農業や事業経営者、地域活動等で活躍されている方々10名と吉村知事、鈴木町長が車座になって対話しました。鈴木町長の進行のもと、高齢者が暮らしやすい地域づくり、地域活動の活性化、特産品のPR方法、若者への結婚支援、子どもたちが安心して過ごすことができる環境づくりについて意見が交わされ、地域を思いやるあたたかい意見が多く聞かれました。



朝日の若者たちです

吉村知事からは、特産品を生かしたさまざまな団体との連携事例の紹介や、農業や産業と結婚支援のコラボレーションの助言と、激励の言葉がありました。また、最後に、朝日町のご当地キャラクター桃色ウサヒも遊びに来てくれました。記念撮影をするなどさらに盛り上がり閉幕となりました。



桃色ウサヒも来たよ

(総務課 023-621-8355)



## 山形県知恵袋委員会（村山地区）

8月8日、村山総合支庁本庁舎にて平成30年度山形県知恵袋委員会（村山地区）を開催しました。当日は、委嘱された7名の地区委員から、地域に根ざした教育を実践するための地域人材バンクの設立や、妊産婦から子育て世代までの切れ目のない支援、松喰い虫やナラ枯れ被害木を活用したバイオマス発電の実施等、県政の幅広い分野に対して様々な“知恵”を御提案いただきました。

今後、いただいた御提案への対応の方向性などを取りまとめ、関係機関と連携しながら、県の施策に繋げてまいります。（取りまとめ結果については県のホームページで紹介予定）

【平成30年度山形県知恵袋委員（村山地区）】

荒木たか子さん（寒河江市）、荒井眞智子さん（山形市）、大高勇司さん（山形市）、柴田サダ子さん（村山市）、岡崎美枝子さん（山形市）、國分清貢さん（尾花沢市）、永岡正憲さん（村山市）

（総務課 023-621-8104）



## もくいく 「木育」インストラクター養成講座

木に親しみ、木材の良さや利用の意義などを学ぶ「木育インストラクター養成講座」が、9月8日に県民の森で開催されました。講師には、認定NPO法人芸術と遊び創造協会公認講師の福島計一氏をお迎えし、参加者41名が講義やフィールドワークを通して木育について学びました。

講義では、日本は太古の昔から木と共に生きてきた木の文化の国であったのに、現在は暮らしの中で木を意識することがなくなり、人と木（森林）の繋がりが薄れた危機感から「木育」が生まれたことや、デジタルな遊びに囲まれた現代の子どもたちに、工夫する心、人と関わっていく力、豊かな感受性を、木育を通して育てていくことなど、貴重なお話を聴きました。

実践編では、「ままごと遊び」を題材に、県民の森で葉っぱや小石などの自然物を集めて、食べ物に見立て木の皿に盛り付けるプログラムの進め方を学ぶとともに、独自の木育プログラムを企画するグループワークを行い、木育インストラクターの認定を受けました。受講者は熱心に講師の話に耳を傾け、実践編では終始笑いのある楽しく有意義な講座となりました。

（森林整備課森づくり推進室023-621-8248）



## 《西山杉》を「山形ビエンナーレ」でPR

村山総合支庁では、西川町、朝日町、大江町の3町から産出されるブランド材・西山杉の需要拡大を図るため、初めての取り組みとして東北芸術工科大学と連携した西山杉のPRを進めています。9月1日から24日まで開催された同大主催の芸術祭「山形ビエンナーレ2018」では、シンボルオブジェ「さんもん」（写真）の材料に西山杉を提供しました。

この「さんもん」は高さ約4m、幅約16mで、芸術祭へのゲートの意味も込められて命名されており、開催期間中はメイン会場である文翔館前に常時展示されました。

内部には杉玉や木製イスなども配置され、集いの場としても利用できるようデザインされていました。

期間中は山形市内の造り酒屋が地酒を出品して多くの来場者を集めるなど、メイン会場にふさわしい賑わいを見せていました。テーブル部分には西山杉の特徴やPRコメントが直接プリントされており、空間やお酒を楽しみながら西山杉を見て触れられる場となりました。

また、ビエンナーレ専用ホームページでは、さんもんの製作過程として西山杉の伐採・製材・加工までの様子が掲載されています。是非御覧ください。 <https://biennale.tuad.ac.jp/programs/1554>

（森林整備課023-621-8284）





= **“もしも”** のために **“やってみよう!”** **“はじめよう!”** =

## シェイクアウト

シェイクアウトとは、地震が発生したときに、自分自身を守るために真っ先に行うべき安全確保行動のことです。いざ地震が起きたときは、まず自分の身をしっかりと自分自身で守りましょう！

シェイクアウトの一例



**屋内にいたら**  
机やテーブルの下に入り、揺れがおさまるのを待ちます。

**屋外にいたら**  
建物やブロック塀等から離れてカバンなどで頭を守ったり、うずくまります。

## ローリングストック

災害は、いつ身近に起こるかわかりません。ひとたび大きな災害が発生した場合、生活に必要な食料や日用品が届かなくなることがあります。

ローリングストックとは、普段使う食料や日用品を、もしもの場合に備えて多めに買って置き、それらを日常生活の中で使いながら、使った分を買い足すことです。

まずはローリングストックで、簡単に防災をはじめましょう！  
(総務課 023-621-8352)

誰でも簡単！手軽に3ステップ！  
これがローリングストックだ！



## シリーズ ～むらやまの若人（わこうど）たち～Vol.59

**ものづくり活動を通して、  
多様な価値観に出会える場づくりを目指して！**

ワークショッププランナー  
いざわ えり  
石沢 恵理さん

今年度スタートした山形県の「若者支援コンシェルジュ」事業。県内で地域を元気にしようとして活動している団体・個人の方を地域活動の実践者である“若者サポーター”が応援します。今回紹介するのは、その“若者サポーター”の石沢恵理さんです。

中山町出身の石沢さんは東北芸術工科大学大学院こども芸術教育研究領域を修了し、現在は高校の非常勤講師をしながら、県内各地で地域との関わりをテーマにしたワークショップを開催し活動しています。大学在学中から地域の子もたちやお年寄りと交流するフィールドワークを行ってきました。ワークショップでは絵の具や自然物など身近な素材を使って、子どもも大人も気軽に参加できるようなものづくり活動を通して、驚きやワクワク感を多くの人に感じてもらいたいと石沢さんは考えています。

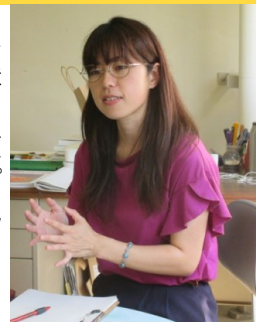
そんな石沢さんに“若者サポーター”として依頼された最初の課題はイベント開催の仕方について。これまでの経験と知識を活かし、①集客の仕方 ②チラシの作り方 ③イベントの運営方法などをアドバイスします。石沢さんは、相談者と話をしながら一緒に考えていくことを大事にしており、この出会いが自分にとっても相談者にとっても繋がるきっかけになると言います。「大好きなワークショップは、これまで出会った人とのつながりがあったから続けられた。地域の方々から学ぶことは多い。」と語る石沢さん。将来は、自分の拠点をつくり仕事としてワークショップをやっていき、そして、スタッフとなる人材を育てたいと・・・。

授業のない日は鶴岡市や天童市などへ出向いて精力的にワークショップの講師をし、現在は地元中山町で開いている教室「マルイシ工作室」の“まちあそびワークショップ”に向けて、活動を通してどんな出会いが生まれるのかを楽しみに準備を進めているそうです。今後の活躍がますます期待されます。

(子ども家庭支援課 023-627-1153)



トントンすもう親子で楽しむワークショップ



## 国道347号「鍋越峠」地域交流フォーラムを開催します

「秘密のケンミンSHOW」番組制作プロデューサーの伊藤考宏氏から地域の魅力再発見をテーマにした講演をいただき、宮城・山形両県の相互交流の一層の推進と広域連携による更なる地域活性化を目指します。

- ▼日時 11月9日（金）午後1時30分～3時45分
- ▼場所 大石田町「虹のプラザ」（大石田町緑町28番地）
- ▼内容 講演、パネルディスカッション
- ▼申込み・お問合せ ☎ 北村山総務課連携支援室(0237-47-8614)



伊藤考宏プロデューサー

# インフォメーション



## 10月は『がん検診推進強化月間』です

御存知でしたか？私達にとって、がんは身近な病気です。日本人の死因第1位で、生涯のうち2人に1人の方ががんにかかり、3～4人に1人の方ががんで亡くなると言われています。

「健康には自信がある」「なんとなく面倒」こんな理由でがん検診を受けずにいる、なんてことはありませんか。多くのがんは、早期発見・早期治療によって治る病気になってきました。がんによる死亡率を下げるためには、定期的ながん検診を受診することが大切です。健康を守るための第一歩、がん検診を受けましょう。

### ◎部位別の死亡数順位(全国)

	1位	2位	3位
男性	肺	胃	大腸
女性	大腸	肺	膵臓

(人口動態統計 2016年)

### ◎部位別の罹患数順位(全国)

	1位	2位	3位
男性	胃	肺	大腸
女性	乳房	大腸	胃

(地域がん登録 2014年)

男女による違いがあります。死因では男性は肺がん、女性は大腸がんが最も多く、罹患(病気になること)では、男性は胃がん、女性は乳がんが最も多くなっています。



## 不法投棄及び海岸漂着ごみ削減強化月間

山形県では、10月1日から10月31日までを「不法投棄及び海岸漂着ごみ削減強化月間」と定め、地域住民・事業者・行政が一体となって、不法投棄の巡回パトロールを集中的に実施します。

昨年は月間中に延べ100名以上の方々に参加いただき、不法投棄常習力所等32カ所を巡回し、新たに2件の不法投棄を確認しました。

山形の美しい景観を守るために、みんながルールを守って「不法投棄をしない、させない、許さない」地域づくりを進めましょう。

(環境課023-621-8422)

### 【監視カメラを設置】



### 【原状回復作業】



## あとかき

猛烈な暑さと大雨に見舞われた夏がようやく過ぎ、一気に秋の出番となりました。「秋」はいろいろな形容詞(食欲、読書、芸術、スポーツ・・・)で彩られますが、皆さんはどの秋でリフレッシュしますか？

■発行元■  
村山総合支庁総務企画部  
総務課企画調整担当  
Tel.023-621-8104  
Fax.023-624-3056

## ♡♡ Xmasde婚活 参加者募集! ♡♡

むらやま広域婚活事業実行委員会では、「クリスマスde婚活」と題した、男女の出会いのイベントを実施します。イベントでは、クリスマスイメージした「カフェ・アルドーレ」のピュッフェランチを用意しています。新たな出会いとおいしい料理、ときめく会話を楽しんでください。また、自身をブラッシュアップしてイベントに臨むことができるよう、事前の自分磨き講座をセットにしています。

### ★クリスマスde婚活

は12/9(日)に、  
★自分磨き講座  
は12/5(水)に、  
村山市蕨葉プラザで  
開催します。

申込期限は11/27  
(火)正午です。

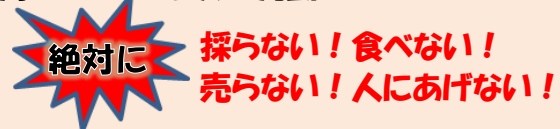
23~45歳の独身  
男女の皆様の参加を  
お待ちしております。

詳細は事務局  
(子ども家庭支援課  
023-627-1151)  
までお問い合わせく  
ださい。

## 10月はキノコ食中毒予防月間です

山形県は、平成24年からきのこ食中毒の発生数が全国で最も多くなっています。特に「ツキヨタケ」「クサウラベニタケ」の誤食が多く、注意が必要です！

### 食用のキノコと確実に判断できないキノコは



※同じようなキノコが生えていても毒キノコが混在している場合があります！

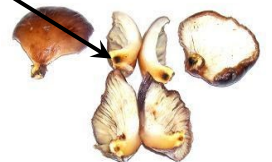
### ★中毒症状を起こしたら★

速やかに医療機関を受診し、その際に、キノコの残品がある場合は、持参するようお願いします。

★芯を縦に裂くと、  
黒いシミ有り

ツキヨタケ

⇒幼茸はシミ無の場合あり！危険！



村山保健所生活衛生課  
(023-627-1185)

**\*保健所では、食用か否かの判断はできません\***

村山総合支庁ニュースは、山形県のホームページからも 御覧いただけます。  
<http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogoshicho/murayama/301001/murayamanews.html>

